



あなたの中に未来がある。

JMRA 一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会



JMRA e-mail magazine VOL.16

< 続報 >

JMRA アニュアル・カンファレンス 2019 特別講演内容が決定

TOPICS

- ・セミナー「先端技術に市場調査会社はどう挑むか？」開催
- ・ISO 20252 が今夏をめどに JIS 規格化の見込み
- ・マーケティング・リサーチ綱領[解説]第2版を公開中
- ・プライバシーマーク審査説明会を実施中
- ・トピックスセミナー 調査活用事例共有会(仮称)



配信日: 2019.2.19

寒い日が続く中、いかがお過ごしでしょうか？

北海道では史上最強寒波襲来などで1日の最低気温がマイナス20度以下を記録するなど、東京で暮らしていると想像もできない状況のようです。

そんな中、私は若干鼻風邪気味なのですが、インフルエンザも全国的に流行しているようです。数年前、ビッグデータをベースにインフルエンザ感染率予測を行うサービスが、その有用性において議論を呼びました。

誤った予報が報告されることも多々あったようで、ビッグデータの有用性に疑問が投げかけられるきっかけともなりました。

莫大なデータがあるとしても、そもそものデータの偏りやそれを分析する人、解析アルゴリズムなどにより解釈が異なるなど、ビッグデータを活用した分析にはまだまだ問題点があります。

個人的には、何らかの事象に対する巨大なデータを利用した予測分析は、結果がすぐわかることもあり、これからもトライアンドエラーを繰り返していくことで、より精緻な分析が可能になっていくと思いま

す。

インフルエンザ流行の完全な予測が可能になっても罹患する人はいるとは思いますが予防の助けになればいいですね。

<JMRA 広報・宣伝委員会>

[>メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

<続報> JMRA アニュアル・カンファレンス 2019 特別講演内容決定！

「全数系ビッグデータで切り拓く、新しいリサーチの可能性」

2019年5月28日(火)に開催されるJMRA アニュアル・カンファレンス 2019において、特別講演の内容が決定しました。

「全数系ビッグデータで切り拓く、新しいリサーチの可能性」をテーマに、関口 智樹氏(株式会社NTTドコモ)と中野 暁氏(株式会社インテージ)のお二人に、リサーチユーザー企業とマーケティング・リサーチ企業の立場から、対談形式でご講演いただきます。

詳細は、3月上旬公開予定のJMRA アニュアル・カンファレンス 2019のランディングページでお知らせいたします。

<TOPICS>セミナー「先端技術に市場調査会社はどう挑むか？」

-ビッグデータ時代のチェンジリーダーになるには- を開催します！

2月27日(水)に、ビッグデータやAIなど先端技術の潮流・動向をどのように捉えるべきか、どうマーケティング・リサーチ事業に活用していくのか、そのために求められる人材とは、などをテーマとして、セミナーを開催します。

本セミナーでは、中央大学ビジネススクールのトップである中村 博教授をお招きし、アカデミックな領域から課題認識と市場調査会員社への期待を語っていただくとともに、研究会メンバーによる具体的で平易な事例紹介を行います。

これからのマーケティング・リサーチ業界をリードする皆さまのご参加をお待ちしております。

●基調講演

激変する流通・マーケティング環境の変化とマーケティング対応
～ビッグデータ時代にマーケティング・リサーチに期待すること～
中村 博 教授:中央大学大学院戦略経営研究科長

●事例紹介

(1)「ヨコのデータをタテにする」ことから始まるビッグデータ分析
鈴木 真琴 氏:富士ゼロックス(株)

(2)医薬品調査市場におけるビッグデータハンドリングとシステム化実例
佐藤 暢章 氏:(株)アンテリオ 執行役員 事業開発部/クロスソリューション室担当

(3)(実は誰でも対応できる)位置情報ビッグデータの実践的活用
高野 精久 氏:(株)サーベイリサーチセンター執行役員 事業本部 調査部長

[>詳細・お申し込みはこちら](#)

<TOPICS>ISO 20252 が今夏をめどに JIS 規格化されます！

調査サービスの品質保証へ、官民合同の JIS 原案作成委員会が始動

ISO 20252 は、市場調査系のサービスプロセス管理に特化した国際規格です。

JIS(Japanese Industrial Standards)は、工業標準化法に基づいて制定される日本独自の国家規格ですが、従来は主として製造業を対象としていました。

2018 年の法改正に伴い、サービス業にもその範囲が拡大されることになり、JMRA が名乗りを上げました。

今のところ、サービス業分野での適用第 1 号となる見込みです。

1 月 25 日(金)に、学識経験者、リサーチユーザー、調査業界の代表者から構成される第 1 回 JIS 原案作成委員会が開催され、検討がスタートしました。

ISO 20252 の改定第 3 版(正式版は 2 月 12 日発行)をベースとして、日本市場の特性に合わせた調整を行うかどうか議論され、原案は 4 月にパブリックコメントにかけられる見通しです。

順調に進めば、今夏にも新 JIS 規格として経済産業省より公示されることが予定されています。

<TOPICS> マーケティング・リサーチ綱領[解説]第2版を公開中

綱領の各条文の趣旨に対する理解にご活用ください

2018年12月に、「マーケティング・リサーチ綱領 [解説]」について、具体的事例や内外の状況変化などに照らした第2版を公開しました。

綱領の各条文の趣旨に対する理解を助け、実際の業務への適用にあたって必要な指針を示すことを目的として作成されています。

[>詳しくはこちら\(PDF:550KB\)](#)

<TOPICS> プライバシーマーク審査説明会を実施中

大阪会場:3月1日(金)、東京会場:3月25日(月)追加開催

JMRA プライバシーマーク審査業務部では、「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」と「マーケティング・リサーチ産業 個人情報保護ガイドラインの改正」に伴い、今後のプライバシーマーク更新審査における変更点、注意点の説明会を開催しています。

各日程は定員を40名としておりますが、大阪会場では定員に若干の余裕があります。また、東京会場は好評につき3月25日(月)に追加開催をします。

初回を受講された参加者からは「プライバシーマーク更新にあたってのポイントがよく理解できた」等のご感想をいただいております。

プライバシーマークのご担当者の皆さまは、ぜひご参加ください。

●大阪会場:2019年3月1日(金)

●東京会場:2019年3月25日(月)(※2月26日(火)は満席となりました。)

※定員は各日程40名(1社2名まで)です。

[>詳細・お申し込みはこちら](#)



＜連載・第3回＞ マーケティング・リサーチ・テクノロジー展

当日発表された研究や商品・サービスをご紹介します

2018年11月に開催し、好評を博したマーケティング・リサーチ・テクノロジー展。こちらで発表された研究成果や商品・サービスを4回にわたってご紹介します。

3回目の今回は、Tableau Japan社です。

Tableau Japan社からは、視覚的データ解析ソフト Tableau のプレゼンがありました。

Tableau はインタラクティブなビジュアル分析ソフトウェアです。膨大なアンケート結果を視覚化し、データの見方を変え「報告」から「理解」のためのプレゼンテーションへの提案がありました。

今回ご紹介した Tableau Japan 社の詳しい関連情報は、下記のリンクに掲載しています。

[＞報告ページはこちら](#)

[＞資料はこちら\(外部サイト: Tableau Japan 社\)](#)

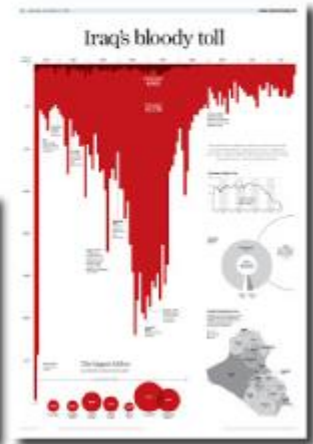
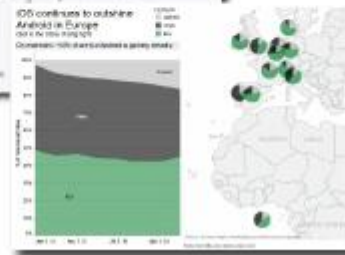
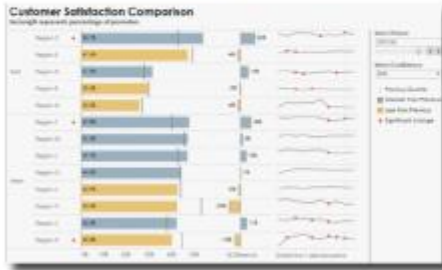
[＞Tableau 製品のトライアル版のダウンロードはこちら\(外部サイト: Tableau Japan 社\)](#)



そのデータから、何がわかりますか？
データの価値を見出す方法とは？



Tableau Japan 株式会社
視覚的データ解析ソフト Tableau



<What's happened?> おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。

■2019 年は「マイクロマーケティング元年」に！
成功の秘訣は”コミュニティ活用 ”にあり

[> 詳しくはこちら\(外部サイト: MarkeZine\)](#)

■データ活用×顧客理解のためにクリアすべき5つの課題
コニカミノルタジャパンが明かした解決策とは？

[> 詳しくはこちら\(外部サイト: MarkeZine\)](#)

■分析方法は「特性」と「変数」で変わる
精度が高いデータ解析を行うために重要な4つのS

[> 詳しくはこちら\(外部サイト: MarkeZine\)](#)

海外情報:ESOMAR 通信

ESOMAR が発信する諸外国の興味深い記事をピックアップしています。

●英国の合意なき離脱の影響について

英国の Brexit 問題は、混迷が続いています。

このまま合意なき EU 離脱に突き進んだ場合、データ取引においても、かつて米国と EU とのセーフハーバー協定が破棄された時のようなリスクが再現されてしまうのでしょうか？

[>詳しくはこちら\(外部サイト:ESOMAR\(英文\)\)](#)

●消費される食品へのアプローチ

オーストラリアにある「Bulla Dairy foods」という乳製品メーカーによる消費者データの収集についての取り組みをご紹介します。

[>詳しくはこちら\(外部サイト:ESOMAR\(英文\)\)](#)

ヒューマンリソース部署必見！

トピックスセミナー 調査活用事例共有会(仮称)

現在、メーカーの商品開発において、リサーチがどのように活用されているか？
第一線に立つメーカー担当者が実際に行われた事例を用いて発表を行います。
クライアントが持っている問題点や課題に、リサーチはどこまで応えられるのか？
質疑応答やディスカッションも準備を進めておりますのでご期待ください！

日程:4月下旬(予定)

詳細については、あらためて HP でご案内させていただきます。

<連載>ズームアップ！わが社のリサーチャー

毎回、各社の中堅リサーチャーが登場。

「リサーチャーとして成長した時」「今だから言える失敗談」を語ります。

「リサーチャーとしての悩み」は、若いリサーチャーの皆さんの参考になると思います。

第9回目は、マーケティング アンド アソシエイツ社のK. H. さんです。

[>詳しくはこちら](#)

09 Researcher

お名前	K.H.
性別	男
年齢	34歳
会社	株式会社マーケティングアンドアソシエイツ
経歴年数	10年
好きな食べ物	ラーメン
座右の銘	チャンスは準備しているものにやってくる
もし生まれ変わるならなりたいもの	大谷翔平



質問1 あなたがリサーチャーとして成長を実感したのはどんな時？

ミーティングで、お客様の状況や課題などをお伺いをして、その場で調査の設計や枠組み、アウトプットを提案できるようになった時です。様々な調査を経験することで、最終的な報告までのストーリーが頭の中で作れるようになると、その場で確認しておくべきことなど瞬時に判断ができるため、調査全体の質の向上にもつながって成長を感じました。

<お知らせ>

●「日経 MJ」に JMRA の個人情報保護施策に関する記事広告を掲載予定

マーケティング・リサーチ業界が取り組んでいる個人情報保護とデータ活用両立について、内田 俊一 会長、村上 智人 コンプライアンス委員会理事、一ノ瀬 裕幸 ISO/TC225 国内委員会委員長がインタビューを受けました。

一般読者に向けて業界を取り巻く環境変化と対策についてご紹介しています。

こちらは 2 月 27 日(水)の「日経 MJ」に掲載予定です。

●ヘルスケア・マーケットインテリジェンス・カンファレンスのご案内

3 月 19 日(火)に「医薬品・医療業界におけるインサイトの力で、人々をより健康に。」をテーマに「ヘルスケア・マーケットインテリジェンス・カンファレンス」が、東京ビッグサイトにおいて開催されます。ヘルスケア産業におけるインサイト業務及びそれに関わる人々や組織の貢献度と価値を高め、インサイトに関わる人々の切磋琢磨と交流の場作りを目的としたイベントで、JMRA も後援しています。

[>詳しくはこちら](#)

<今月の一節>

「ここ 10 年のインターネットリサーチの広がりに伴い、市場調査の目的の主流は比較的簡便な仮説検証型となっていた。

しかしここ数年は、市場行動や消費者心理の本質をつかむことで事業判断につなげる、仮説推論を主目的とするリサーチにも多くの視線が向けられるようになりつつある。

近い将来、労働人口の減少と AI 技術の発展により、単純な検証調査は人間以外の仕事となる可能性もあるが、このような仮説推論は人間のほうが適している職業分野であり、リサーチャーの存在価値がアップする。」

(「[JMRA マーケティング・リサーチ産業ビジョン](#)」より)

◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は下記よりお願いいたします。

<http://www.jmra-net.or.jp/mailnews/>

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシー

<http://www.jmra-net.or.jp/privercypolicy/>

◆配信元：

……………あなたの中に未来がある。……………

一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

<http://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp